

令和2年度O I H（大阪イノベーションハブ）
シードアクセラレーションプログラム業務委託契約に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

企画提案書の提出を受け付けた2者について、学識経験者等の意見を聴取する有識者会議による審査を行い、同会議の評価結果を基に、次のとおり受注予定事業者を選定しました。

1 案件名称

令和2年度O I H（大阪イノベーションハブ）シードアクセラレーションプログラム業務委託
契約期間 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

2 選定した受注予定事業者

O S A Pプロジェクトコンソーシアム共同体（代表構成員 有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所）

3 公募期間

令和元年12月27日から令和2年1月29日まで

4 有識者会議による審査の結果

(1) 有識者会議名簿（敬称略）（五十音順）

委員氏名	役職等
中谷 吉彦	立命館大学産学官連携戦略本部 副本部長
フォーリー 淳子	大同門株式会社 代表取締役社長
松田 一敬	合同会社SARR 代表執行社員

(2) 有識者会議の開催日 令和2年2月18日

(3) 審査基準

審査項目	審査内容	配点
(A) スタートアップ企業の募集	・有望なスタートアップ企業の具体的発掘方法、発掘目標数、発掘のための関西の他の自治体、大学の産学連携担当等との連携方針・方法	10
	・アクセラレーションプログラム参加スタートアップ企業の選定方法（募集期間、審査方法、審査体制、面接審査数、審査員候補者名など）	10
(B) アクセラレーションプログラム	・プログラム参加スタートアップ企業の目標数及び成果の目標	5
	・プログラムの具体的内容（支援計画・手法・工程、スケジュール、支援先スタートアップ企業の事業進捗管理方法など）	15
	・講師、メンター候補（起業経験者・事業経営経験者など）、連携先候補となる大企業、ベンチャーキャピタル、シードアクセラレーター、ものづくり中小企業等の具体名	15

(C) 情報発信、フォローアップ、G I 業務との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信手法方針、発信手法（プログラム受講スタートアップ企業のプロモーション（大企業等、ベンチャーキャピタル、シードアクセラレーター、ものづくり企業などとの連携促進）や関西・大阪の人材に対する起業家マインドの醸成などつながる内容か） ・本業務で発掘したスタートアップ企業及びそのコミュニティへのフォローの方針、方法（他自治体との連携を含む） ・受注者の保有ネットワークや本業務で新たに開拓したネットワークの発注者及びG I 業務との共有や、その他G I 業務と連携した取り組みの方針 	10
(D) 事業効果の最大化に向けた取り組みや手法の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・関西のイノベーションエコシステムの強化につながる等本業務の効果を高める独自提案（連携先の開拓方針・方法や開拓作業量を含む）、プログラム終了後のスタートアップ企業の関西定着のための方策 	10
(E) 業務スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・準備段階を含め、本業務の確実な履行が見込まれる詳細なスケジュール 	5
(F) 業務実施能力・体制・経費	<ul style="list-style-type: none"> ・提案の業務内容を確実に実施するための適切な実施体制（人員配置、責任体制、情報管理体制） ・統括管理責任者、各担当者等のパーソナリティ、スキル、ビジネス経験・知識、適性、同種・類似業務の実績・期間（シードアクセラレーション事業、大企業等との連携実績等）、保有ネットワーク ・受注者の同種・類似の事業の実績（シードアクセラレーション事業、大企業との連携実績等） ・本業務と相乗効果が見込まれる受注者の独自事業 ・本業務の実施に資する受注者の保有ネットワーク（連携実績があり、連携が見込まれる大企業等、ベンチャーキャピタル、スタートアップ企業、成功起業家、ものづくり企業など） ・受注者の財務状況 ・見積もりの妥当性 	20
合 計		100

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

OSAP AMA共同事業体

OSAPプロジェクトコンソーシアム共同体 全2者

(5) 審査結果（有識者の評価点の合計）

審査項目	審査内容	受注 予定者 評価点
(A) スタートアップ企業	<ul style="list-style-type: none"> ・有望なスタートアップ企業の具体的発掘方法、発掘目標数、発掘のための関西の他の自治体、大学の産学連携担当等との連携方針・方法 	20

の募集	・アクセラレーションプログラム参加スタートアップ企業の選定方法（募集期間、審査方法、審査体制、面接審査数、審査員候補者名など）	21
(B) アクセラレーションプログラム	・プログラム参加スタートアップ企業の目標数及び成果の目標	11
	・プログラムの具体的内容（支援計画・手法・工程、スケジュール、支援先スタートアップ企業の事業進捗管理方法など）	33
	・講師、メンター候補（起業経験者・事業経営経験者など）、連携先候補となる大企業、ベンチャーキャピタル、シードアクセラレーター、ものづくり中小企業等の具体名	35
(C) 情報発信、フォローアップ、G I 業務との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信手法方針、発信手法（プログラム受講スタートアップ企業のプロモーション（大企業等、ベンチャーキャピタル、シードアクセラレーター、ものづくり企業などとの連携促進）や関西・大阪の人材に対する起業家マインドの醸成などつながる内容か） ・本業務で発掘したスタートアップ企業及びそのコミュニティへのフォローの方針、方法（他自治体との連携を含む） ・受注者の保有ネットワークや本業務で新たに開拓したネットワークの発注者及びG I 業務との共有や、その他G I 業務と連携した取り組みの方針 	19
(D) 事業効果の最大化に向けた取り組みや手法の提案	・関西のイノベーションエコシステムの強化につながる等本業務の効果を高める独自提案（連携先の開拓方針・方法や開拓作業量を含む）、プログラム終了後のスタートアップ企業の関西定着のための方策	20
(E) 業務スケジュール	・準備段階を含め、本業務の確実な履行が見込まれる詳細なスケジュール	10
(F) 業務実施能力・体制・経費	<ul style="list-style-type: none"> ・提案の業務内容を確実に実施するための適切な実施体制(人員配置、責任体制、情報管理体制) ・統括管理責任者、各担当者等のパーソナリティ、スキル、ビジネス経験・知識、適性、同種・類似業務の実績・期間（シードアクセラレーション事業、大企業等との連携実績等）、保有ネットワーク ・受注者の同種・類似の事業の実績（シードアクセラレーション事業、大企業との連携実績等） ・本業務と相乗効果が見込まれる受注者の独自事業 ・本業務の実施に資する受注者の保有ネットワーク（連携実績があり、連携が見込まれる大企業等、ベンチャーキャピタル、スタートアップ企業、成功起業家、ものづくり企業など） ・受注者の財務状況 ・見積もりの妥当性 	42
合 計		211

※応募者が2者であったため、次点者の得点は公表しません。